

スピリチュアル物語

26話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリオット内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「眉間にある第3の目?」
僕にはそんな実感湧かないなあ「ウイザットがボソッと呟く。「医学の世界では松果体と第3の目を関連付けてもいるそうじゃ」「シヨウカタイ?」
鸚鵡(おうむ)返しをするマジョリアル。「そうじゃ。松果体は脳内の中央、2つの大脳半球の間にある内分泌器で、メラトニンを生成し体内リズムを司ると同時に、右脳つまり潜在意識にも関連していると言われているんじゃ。潜在意識は潜在界と繋がっており、潜在界↓右脳↓松果体↓第3の目を経て情報を得ることを、スピリチュアル的にはサイキック能力と言っておる」

「サイキック能力?何だか胡散臭いな」ウイザットが顔を歪ませる。「残念ながら、実はサイキック能力と人間性は必ずしも一致しているわけでもないんじゃな」マグワートが曇った声で言った。「どうしてですか?」「それは…人間には、光に繋がっているハイヤーセルフと、闇に支配され易いロウアーセルフがあるからじゃ」「あれ?その話は確か第7話で、もう一人のマグワート爺さんが言っていたことだな」ウイザットが顎を摩りながら言う、「ということは、サイキック能力のある人間に闇組が入り込んでしまうと、その能力を光としては使わないで、

エゴを満たす為に使う、ということになるわけですね?」マジョリアルがウイザットの言葉に続けてそう言った。「そうじゃ。人は神様ではないので、時に魔が差すこともあるし、生い立ちや過去のトラウマのせいで、光を見失っている場合もある。自分のサイキック能力を驕り、人々を翻弄する闇組と手を組んだり、手先に成り下がる者中には居るわけじゃ」マグワートは哀しい顔をした。



★これまでのお話(1~25話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com お話の続きは1月27日号をお楽しみに!